

しりべしツーリズムサポートニュース

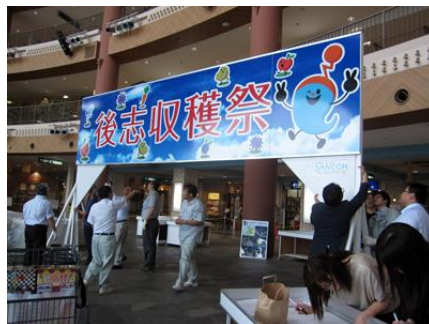


Vol.92

平成 27 年 10 月

「後志収穫祭 2015」終了

大型連休を控え今年は昨年より 4 日ほど早く開催。準備を始めて間もなく、ほんの数日早い〜が新米に影響するとは思いませんでした。期待に応えるべく蘭越町の猛努力で蘭越米新米も販売出来ました



会場作りの金曜午後からは小樽開発建設部から沢山の方々の助っ人を頂き、収穫祭看板の組立て、会場作りと大変お世話になりました。



HBC「もんすけ」も!

今年は産直野菜販売が多く、初出店事業者、団体も 10 店ありました。



勝手も、要領も解らない初出店の方々は疲れも大きく大変だったと思います。ご苦労様でした!でも i ネット仲間でもある「仁木観光協会」「きもべつ観光協会」が参加してくれ

たのはとても嬉しかったです! ↓余市紅志高校も“最終日のみ”ながら初出店。



子供や孫を応援するような気持ちになるのか、高校生の販売品は例年圧巻の水産高校も、初出店の紅志高校も野菜類から早々に売切れとなっていました。二日目は朝からの雨。屋内会場の強みもあって初日より来場者多く、終了前に売切れも見られましたが、購入単価低を見てもお財布事情は厳しいようです。初めてトライした Facebook 広告では、アクセスなどのコストパフォーマンスは上々で、都市圏への周知は出来たようですが来場に繋げるということには厳しい現実を感じました。

OBC 発表に来街者、駐車台数 (MAX5,000 台) は

1 2 日 32,500 人、7,566 台。1 3 日 33,500 人、8,265 台

郵便局の荷受は 4 3 (昨年より 1 0 個も多かったようです)

OBC からのデータ、出展事業者売上報告から算出した結果は↓

総売上 7,387,350 円 (前年度 7,441,550 円) 出店数 38 (前年度 37)

購入単価 636 円 (前年度 687 円) 入り込み数 (概算) 35,000 人

最高売上事業者は「あさだ園」500,000 円、次いで「小樽水産高校」400,000 円ですが、前年比では「小樽観光協会」170%、次いで「運河家」151%、「イリマス食品」147%、「田中酒造」140%でした

出展者さんからの出店感想、意見として野菜販売の方々からは売り場面積にもっと余裕が欲しい。展開場所が変わったことにより常連客から場所が解らなかった。在庫ストックする場所があれば助かる。ステージ前の通路が狭い。もっと集客の改善検討を。などご意見頂きました。

開催 P R として後志管内全域の道新、読売の朝刊への折込チラシ (65,000 世帯) ほか各種雑誌、観光案内窓口、しりべし i ネット、facebook 広告など使用。



【FB 広告】

広告を見た人

(5,726 人)

後志収穫祭ページへ

飛んだ人 (487 人)

電話問合せ、会場で話

し掛けられたり若干数

は来場に繋がった様子

「後志収穫祭 2 0 1

5」では 7 体のゆるキャラ「岩内・たら丸」「喜茂別・ウサパラ君」「小樽・運がっば」「後観連・チロベシ」「北海道・どこでもユキちゃん」「HBC・もんすけ」「NEXCO・マナーティ」が参加してくださり、家族連れや若い女性達にも大変喜ばれ、スーパーカーフェスティバル 2 0 1 5 の関係者の方々は色とりどりの高級なスーパーカーを展示、デモンストレーション走行もして頂き、子供から大人まで感動、興奮の様子でした。

販売品の事故として、商品は決して粗悪品ではないのに「臭い」「腐っている」など昔ながらの加工をしたホッケ商品の一部にクレームが有りました。以前にも糠ぼっけに同様なクレームが有ったことがあります。昭和、平成となり現代人の味覚の変化を感じます。個人的にも昔は甘くて、美味しいと食べていたものがそっけない味に感じたりすることもあります。水産加工品についても魚嫌いな人が焼き魚が食べられるようになったりと、下味付けの変化や技術向上が昭和から平成の変化の中で起きているのかもしれないな～と感じます。さりとて、クレームが来たら対応はしなければならぬので販売の方はより詳細な説明や味見して頂き、味に納得してご購入頂くなど策が必要かもしれません



今年も沢山の皆さまの助っ人を頂き、貴重な休暇を割いて、賑わい作りの応援、会場設営から運営まで多くのご協力を頂きました。

心より感謝申し上げます。ありがとうございました！後志収穫祭は出展していても楽しい！とお声を頂けるのも皆様のおかげです！！